乳牛は大巾に増加
和牛は僅かに減少
昨年中の種付成績まとまる

昭和31年中の家畜の種付並びに生産の状況がこのほどまとまったが，その概況は次のとおりである。

一．種付及び生産頭数

和牛の種付総額数は３万6,981頭，生産頭数は３万2,153頭で前年より約1,000頭の減少を示し，過去５年間の最低であった。しかし昨年中期からの和牛価格の立直りから種付頭数も相当増加の傾向にあるので本年は20%前後の増加が期待される。

乳牛においては種付5,914頭，生産3,900で特に種付頭数は37%という大巾の増加を示し，酪農ブームの強い反映がうかがえる。

次に山羊は，県家畜保健衛生所及び民営人工授精所（１箇所）の実績であるが種付頭数2,705頭で昨年に比し10%の増加をみた。

乳牛種付成績（人工授精）

所有者区分		頭数	31年種付			30年種付実頭数	30年種付による産仔数		
			実頭数	延頭数	受胎見込		総数	オス	メス
国有	ホルスタイン	1	159	233	143	661	541	201	340
	ジャージー	3	298	587	272	236	212	105	107
県有		9	3,816	5,182	3,318	1,566	1,310	582	728
農協有		3	681	2,049	559	882	737	311	426
その他	ホルスタイン	4	910	1,397	822	1,198	921	412	509
	ジャージー	1	50	76	47	－	－	－	－
計		21	5,914	9,524	5,161	4,543	3,721	1,611	2,110

二．人工授精の状況

昭和31年末における県下の家畜人工授精所数は県営29，民営44，農協営18，町村営２，計93箇所で340人の人工授精師が直接授精業務に携っている。

家畜別にその普及をみると乳牛においては総種付頭数の100%，和牛は70%，山羊30%（推定）となっている。

和牛種付成績

所有別	種牡牛頭数（うち人工授精使用数）	31年種付						30年種付実頭数	30年種付による産仔数		
		総数			うち人工授精によるもの				総数	オス	メス
		実頭数	延頭数	受胎見込	実頭数	延頭数	受胎見込				
国有	4 (3)	558	988	390	546	974	381	2,471	1,978	923	1,055
県有	125 (94)	21,917	29,096	20,750	18,401	24,137	18,210	21,761	18,796	8,972	9,824
市町村有	1	122	158	70	－	－	－	801	578	292	286
農協有	24 (17)	3,938	4,726	3,289	2,142	2,529	2,051	4,322	3,676	1,917	1,759
個人有	90 (22)	10,446	13,187	9,443	4,729	6,040	4,143	8,775	7,125	3,535	3,590
計	246 (136)	36,981	48,155	33,942	25,818	33,680	24,285	38,140	32,153	15,639	16,514